

メッセージノート
ヨハネの福音書 4章19-24節
「まことの礼拝」

(19節一)、サマリヤの女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。私たちの先祖は、この山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」

イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。

しかし真の礼拝者たちが、霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

礼拝は、信仰生活の中心です。

人が神様と出会い、神様と交わり、祈りをささげ、みこころを知り、神様に喜ばれる者となり、神様に喜ばれる生活を送るために、最も大切な行為です。ですから、その豊かな恵み、祝福を体験するために、私たちがどのような礼拝をささげているか、ということは極めて大切なことです。

主イエス・キリストご自身が礼拝について教えておられることに耳を傾けましょう。

「霊とまことによって礼拝をささげること。」

これが、御父が求めておられる真の礼拝です。このような礼拝者を神は求めておられ、このような人々と親しく交わり、祈りを聞かれ、答えてくださいます。

- 人類最初の礼拝。創世記、4：26（アダム—セツ）
「そのとき人々は、主の名によって祈ることを始めた。」
セツの系統から、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、が生まれます。主の御目は、真の礼拝者の上に注がれます。そしてこのような人々を通して、神のご計画が実現します。
- しかし、イスラエルにおいても、真の礼拝者はいつの時代もわずかで、偶像礼拝へと、墮落していきました。ついに BC586 年、エルサレム陥落、神殿の消失。
- 主イエス・キリストが来られてから、新しい時代が始まりました。「今がその時です。」
どのような変革がもたらされたのでしょうか。

- ① すべての人のための罪の贖いのみわざの成就 御子キリストの血による贖い
ヘブル人への手紙、9：12 「キリストは、やぎと子牛との血によってではなく、
ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所にはいり、永遠の贖いを成し遂げられた
のです。」

「私たちはキリストの血による贖い、すなわち罪の赦しを受けています。」
(エペソ人への手紙 1：7)

- ② 聖霊の降臨。 主は、贖いのみわざを成就した後、天の御座に着かれ、約束の聖霊を
教会とそのメンバーに注ぎ続けてくださっていること。
真の礼拝は、聖霊による神との交わりです。礼拝の中で、みことばと祈りを通して、親
しく、深く聖霊と交わり、偽りの霊から解放され、真の霊性（みこころを祈り求め、そ
れを悟り知り、喜んでみこころに聞き従う霊性、信仰）が養い育てられて、霊とまこと
をもって、父なる神様を礼拝する真の礼拝者とされていくのです。
これは、聖霊の恵みのみわざです。

○ 日々のディボーション（静思の時）の大切さ

毎日、主のみことばと祈りを通して、いつでも、どこでも、どんな問題に直面してい
ても、聖霊に導かれて、個人的に御父である神様と交わることができる、交わって
くださるということは、計り知れない恵みです。そのような礼拝者に、みこころ（人
の思いをはるかに越えたみこころ）を、真の解決の道を、真の知恵を、聖書を通して
教え示し、また思い起こさせてくださいます。

イザヤ書 55：8

「天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、
あなたがたの思いよりも高い。雨や雪が天から降ってもとに戻らず、必ず地を潤し、そ
れに物を生えさせ、芽を出させ、種蒔く者には種を与え、食べる者にはパンを与える。
そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っ
ては来ない。必ず、わたしの望むことを成し遂げ、わたしの言い送ったことを成功させ
る。」

「主よ、お話しください。しもべは、聞いております。」

このように日々、主の御前に出て、礼拝をささげ、祈る者の祈りに必ず答えて、みこ
ころを教えてくださいます。